

酒田港から中国へ日本酒輸出 記念式典開催

本年5月、酒田市の友好都市である中国・唐山市の「京唐港」と「酒田港」を結ぶ国際定期コンテナ航路が開設されました。この新航路を利用した初めての日本酒輸出を記念し、9月18日に記念式典が開催されました。

輸出されるのは、菊勇株式会社（酒田市・佐藤剛宏社長）の日本酒約4,500本となります。同社で開催された記念式典では、関係者がテープカットで初輸出を祝いました。

現在酒田港国際ターミナルでは、コンテナ船2隻同時着岸が可能となるよう岸壁延伸工事を実施しています。今後も酒田港が利用されることで、地域経済が発展するよう、当事務所も尽力してまいります。



挨拶する酒田港湾振興会会長の丸山至酒田市長



挨拶する菊勇の佐藤剛宏社長



主催者・来賓によるテープカットの様子



関係者が拍手で見送りました

